令和７年度「ＳＤＧｓの実現に向けた教育推進事業」取組内容

皆野町立三沢小学校

１　育成する能力

・ＳＤＧｓの目標１１「住み続けられるまちづくりを」を中心として
①ＳＤＧｓの課題を自分事として考える能力（ＥＳＤ：未来像を予測して計画を立てる力）
②課題の改善に向けて活動する能力（ＥＳＤ：つながりを尊重する態度、進んで参加する態度）

２　研究概要

（１）取り組む SDGs の目標

（２）研究主題

ＳＤＧｓの実現に向けた教育活動の推進
～三沢の風土に学び、自分事として活動できる児童の育成～

（３）研究仮説

地域の企業や団体、地域の方々と連携すれば、三沢の風土をより身近に感じることができ、ＳＤＧｓに関する三沢地区の課題を自分事として捉え、改善に向けて活動することができるだろう。

３　企業・団体との連携

（１）連携・協働した企業・団体

・三沢地区に工場があり、いつでも訪問できる２つの企業と連携・協働している。
①診療印刷　株式会社
・・・医療用印刷物の製造をしており、ＳＤＧｓの取組にも力を入れている。
②株式会社　東洋精工（県のＳＤＧｓパートナーに登録）
・・・ＮＣ自動旋盤による小径、微細複合精密切削部品の製造をしている。地域の清掃活動もしており、ＳＤＧｓの取組にも力を入れている。

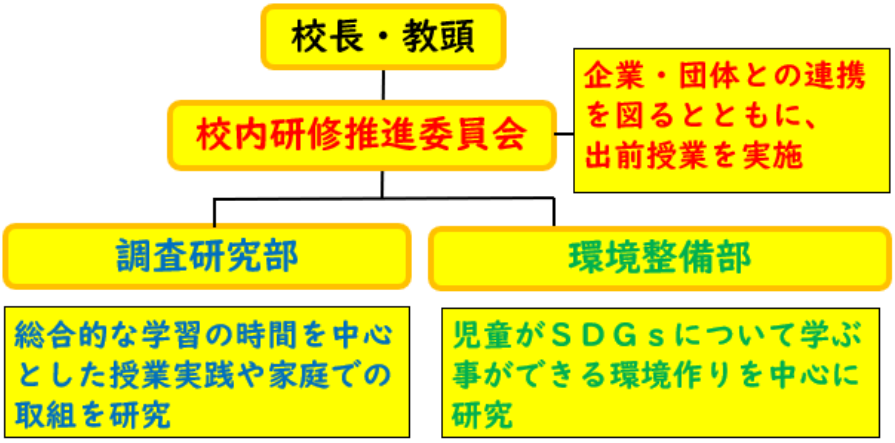
（２）連携・協働した主な内容

①診療印刷　株式会社（総合的な学習の時間を中心に連携している。）
５・６年生が診療印刷を訪問して、Ｃｈｒｏｍｅｂｏｏｋを活用したパンフレットの効果的な作り方を教えていただくとともに、児童が作成したパンフレットを印刷していただいた。
②株式会社　東洋精工（総合的な学習の時間を中心に連携している。）
３・４年生が東洋精工のＳＤＧｓの具体的な取組を教えていただくとともに、高齢者が多い三沢地区を少しでも高齢者にとって住みやすいまちにするために、清掃活動を一緒に実施した。
③診療印刷　株式会社・株式会社　東洋精工
児童が２つの企業と話し合い、ペットボトルキャップ集めにご協力いただいている。そして、集まったペットボトルキャップを社会福祉協議会に寄付をしている。

４　研究内容

（１）研究組織

・校内研修推進委員会、調査研究部、環境整備部の３つの組織で連携を図りながらＳＤＧｓ教育を推進している。



（２）校内研修推進委員会の取組

①企業・団体との連携

・学区内の２つの企業と総合的な学習の時間（三沢っ子タイム）を中心に連携を図って取り組んでいる。

〇対象学年　　第３・４学年

〇教科等名　　総合的な学習の時間　４５時間

〇主な取組内容

（１）単元名　みんなで手をとりあって（現代的な諸課題）

（２）目　標　高齢者や障害のある人々との交流を通して、地域の人々が互いに支え合っている事に気付き、自分にできる事を考え、行動することができる。

（３）内　容　高齢者や障害のある人々の気持ちを知るために、高齢者や障害のある人々との交流や体験を行った。その後、皆野町探検を行い、高齢者や障害のある人々が暮らしやすいように工夫してあることについて学んだ。最後に、三沢地区の高齢者が少しでも住みやすくなるように東洋精工等と一緒に清掃活動を行った。

〇対象学年　　第５・６学年

〇教科等名　　総合的な学習の時間　４５時間

〇主な取組内容

（１）単元名　開こう、世界への扉（現代的な諸課題）

（２）目　標　世界各国の生活や文化への理解を深め、国際社会の中から自分の暮らす地域を見る視点を持ち、国際社会の一員として自分たちにできることを考え、伝えるとともに、学んだことを自らの生活で実践することができる。

（３）内　容　ゲストティーチャーを招いて、世界各国の生活や文化への理解を深めるとともに一番興味のある国について、良さや課題を調べて、Ｃｈｒｏｍｅｂｏｏｋでまとめて発表会を行った。その後、診療印刷を訪問し、パンフレットの効果的な作成の仕方について教えていただくとともに「ＳＤＧｓパンフレット」を作成した。最後に、世界のために自分たちができる事を考え、ペットボトルキャップやベルマークを集めて寄付をするなどの取組を行った。

②出前授業の実施

・県ＳＤＧｓパートナーに登録している埼玉りそな銀行（皆野支店）と連携を図り、「お金の学校」について出前授業を実施していただいた。また、埼玉りそな銀行のＳＤＧｓの取組についても詳しく教えていただいた。

③ホームページの作成

・ホームページには、「ＳＤＧｓルーム」というバナーを設定し、バナーをクリックするだけで、ＳＤＧｓ教育の実践内容について、誰もが簡単に見られるように工夫した。

（３）調査研究部の取組（ＳＤＧｓについて知る→学ぶ→実践する→発信する　の４段階で研究）

①ＳＤＧｓタイムの実施（SDGｓについて知る）

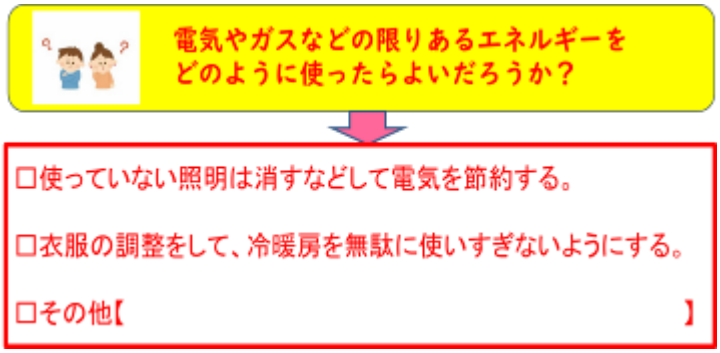
・月に１回、朝行事の時間に、購入したＳＤＧｓカードを活用したゲームを縦割り班で行い、ＳＤＧｓについて楽しみながら知る活動を行った。

②ＳＤＧｓカードゲーム大会の実施（SDGｓについて学ぶ）

・ＳＤＧｓカードゲームを友達と楽しみながら行う事を通して、ＳＤＧｓの内容について多くの事を学ぶ活動を行った。

③ＳＤＧｓシートの作成・活用（ＳＤＧｓについて実践する）

・家族で一緒にＳＤＧｓの課題について考え、課題を解決するためにできる事を実践する取組を行った。ＳＤＧｓシートはチェック形式にして無理なく行えるように工夫した。



④ＳＤＧｓだよりの発行（ＳＤＧｓについて発信する）

・ＳＤＧｓ教育の取組を掲載したＳＤＧｓだよりを作成し、定期的に配布することで、積極的に情報発信をしている。

（４）環境整備部の取組（ＳＤＧｓについて知る→学ぶ→実践する→発信する　の４段階で研究）

①ＳＤＧｓに関する校内掲示の見直し・修正（ＳＤＧｓについて知る）

・ＳＤＧｓの目標１～１７の言葉や内容について知る（階段・廊下）

②設置したＳＤＧｓルーム、ＳＤＧｓ本コーナーの充実（ＳＤＧｓについて学ぶ）

・ＳＤＧｓについて学ぶことができる環境

③総合的な学習の時間に関する掲示の充実（ＳＤＧｓについて実践する）

・総合的な学習の時間で児童が作成したＳＤＧｓ新聞やＳＤＧｓパンフレット

④ＳＤＧｓの課題に対して実践したことを伝える掲示（ＳＤＧｓについて発信する）

・ペットボトルキャップやベルマーク、牛乳パック等を集めて寄付をした写真

（５）学校行事としての取組

①ＳＤＧｓフェスティバルの開催

・町教育委員会、学校運営協議会、保護者、町内小学校教員、児童にお越しいただき、モデル校として３年間研究してきた内容について児童会を中心としたＳＤＧｓ発表会を行った。

②ＳＤＧｓ体験学習の実施

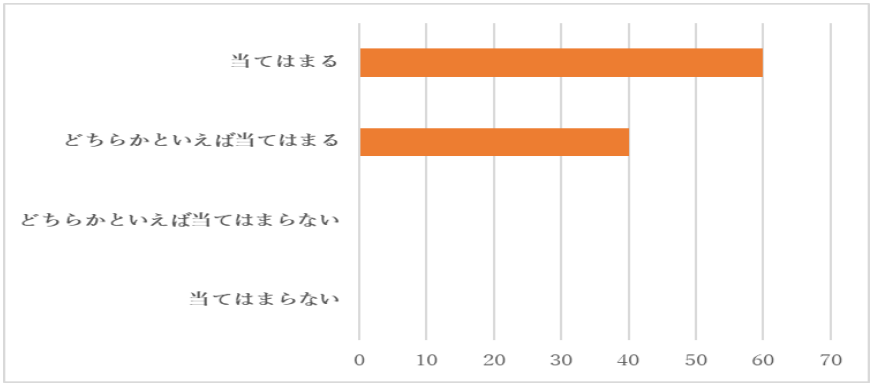
・児童が３年間学んできた事をより深めるために、ＳＤＧｓ学び館を訪問し、ＳＤＧｓスタンプラリー、ＳＤＧｓクイズ、木材キーホルダー作りを行った。

５　成果と課題

○　児童の変容

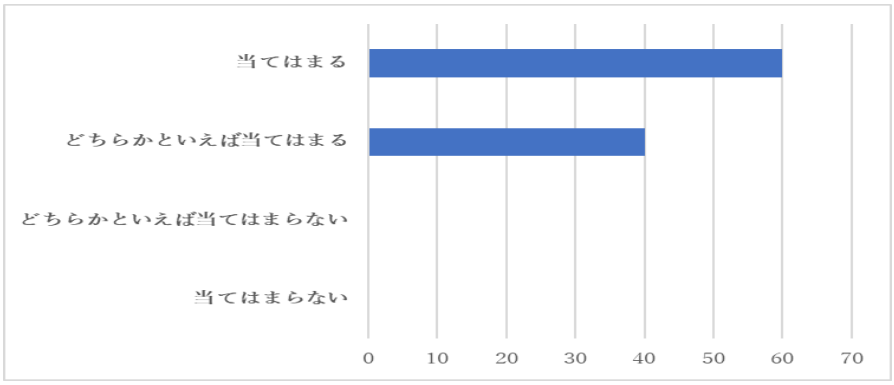
１．全国学力・学習状況調査　児童生徒質問紙結果について

（１）「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」について



（１）の質問に対して肯定的な回答をした児童の割合は１００％だった。

（２）「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」について



（２）の質問に対して肯定的な回答をした児童の割合は１００％で、当てはまると回答した児童の割合が向上した。

令和５年度…３０％　令和６年度…５０％　令和７年度…６０％

２．学校研究主題・育成する能力から（令和６年度との比較）

（１）ＳＤＧｓの課題を自分事として考えることができる児童の割合が９４％から１００％となり、全員が他人事ではなく自分事として考えられるようになった。

（２）ＳＤＧｓの課題の改善に向けて活動する児童の割合が９４％から１００％となり、全員が自分でできる事に取り組めるようになった。

３．三沢っ子児童アンケート（３年生～６年生）から【研究前と研究後の比較】

（１）ＳＤＧｓについて関心がある児童は８４％から１００％となり、全員がＳＤＧｓの目標１～１７を言えるようになるとともに、内容の理解を深めることができた。

（２）三沢地区が好きな児童が８９％から１００％となり、自分たちが住んでいる三沢地区の良さを知るとともに、誇りを持つことができた。さらに、地域の方々との絆を深めることができた。

（３）生活の中でＳＤＧｓに関する事を意識するようになった児童が２４％から１００％になった。児童にとってＳＤＧｓの事が身近になり、家庭でも取り組めるようになった。

○　学校全体の変容

１．ＳＤＧｓの研究を全職員で共通理解を図りながら進めることで、職員のＳＤＧｓに対する関心が高まるとともに、ＳＤＧｓの目標１～１７の内容を理解することができた。そしてＳＤＧｓの課題を自分事として考え、できる事を実践するようになった。

２．単元配列表を作成、活用したことで、総合的な学習の時間だけではなく、各教科でもＳＤＧｓに関連した授業を実践することができるようになった。

３．三沢地区の企業・団体、地域の方々と連携を図りながら研究を推進したことで、三沢地区の企業や三沢地区の方々の思いを知るとともに、地域との絆をより一層深めることができた。その結果、今まで以上に教育活動に地域の方々が参加してくださるようになった。

○　連携した企業・団体の声

１．総合的な学習の時間を中心に一緒にＳＤＧｓについて考え、一緒にできることを実施するということを通して、ＳＤＧｓの大切さを改めて実感する事ができ、今後もＳＤＧｓの取組を充実させていきたいと思います。

２．本社のＳＤＧｓの取組の良い点について児童から多くの意見をいただき励みになりました。今後も三沢小学校と連携を図りながら、ＳＤＧｓの取組を充実させていきたいと思います。

○　今後の課題

１．地域の企業・団体・地域の方々と連携を図った総合的な学習の時間の授業の拡大と充実

２．単元一覧表に基づいた各教科におけるＳＤＧｓと関連した授業の充実

３．全教育活動を通じた持続可能となる教育課程の編成